

公益社団法人 日本技術士会 茨城県支部

第16回技術士CPDミニ講座開催のご案内

公益社団法人 日本技術士会 茨城県支部

研修委員会 委員長 丹 左 京

●演題：「原子力施設における防護服着用作業員のためのリアルタイム暑熱負荷遠隔モニタリング装置の開発とその運用」

～廃炉作業等を安全にすすめるために～

●日時：平成26年12月6日(土) 14:00～16:00

●場所：ワークプラザ勝田 研修室3

〒312-0052 ひたちなか市東石川1279 (TEL029-275-8000)

●講師：独立行政法人 日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所
再処理技術開発センター 技術士(原子力・放射線部門)

高 橋 直 樹 氏

●講演：14:00～15:30

講演概要

原子力施設における点検や保守作業を実施するに当たっては、放射性物質による身体の汚染を防止するために防護服を着用する。しかし、防護服は通気性、透湿性が悪く、作業に伴い発生した熱や汗は、防護服内へと留まる。そのため、防護服内は高温多湿となり、熱中症の発症リスクが高まる。これまで、防護服を着用する作業員の体調管理は、本人の自己申告(主観的な情報)と時間管理を基本としてきたが、本人の自己申告に基づく管理では、作業員の暑熱負荷等に起因する体調の変化を見逃す恐れがあった。そこで、作業員の鼓膜温や心拍数と言った客観的な情報をこれまでの本人の自己申告と組み合わせることにより、防護服を着用する作業員の熱中症の発症リスクをより低減できるものと考え、リアルタイム暑熱負荷遠隔モニタリング装置を開発した。

本講座では、我が国における熱中症発生の現状、熱中症の発症リスクを如何に捉え対処すべきかについて述べるとともに、今回開発したシステムの概要・運用実績について報告する。

●**質疑応答**：15：30～16：00

●**会費**：資料代として会員: 100 円、非会員: 200 円

●**参加条件**：事前申込要、定員 40 名先着順

●**申込先**：10月29日(水)迄

・日本技術士会 HP 会員コーナ「CPD 行事等予定」又は

・下記様式により支部事務局の E-mail 又は Fax で

※連絡先: 090-9334-4296 (前小屋携帯)

●**お問合せ先**：公益社団法人 日本技術士会 茨城県支部事務局

(株) ひたちなかテクノセンター内

〒312-0005 ひたちなか市新光町 38

E-mail：ibaraki@engineer.or.jp

Tel：029-219-5154

Fax：029-265-5558

以上